

低濃度 PCB 汚染物の焼却実証試験（第 4 回）の実施のお知らせ — 環境省 —



環境省は低濃度 PCB 汚染物の焼却実証試験を、本年 3 月 25 日～3 月 27 日の 3 日間で実施しました。

PCB を含有していないと思われていた変圧器(トランス)等の中に、実際には低濃度ではありますが PCB に汚染された絶縁油を含むケースが多数あることが判明したため、これらの低濃度 PCB 汚染物の処理体制の整備が課題となっています。

そこでその整備に向け、本試験では、現在稼働中の産業廃棄物の焼却施設に数 10ppm 程度の PCB が封入されているコンデンサを投入し、排ガス中の PCB 濃度等を分析することにより、安全かつ確実に処理できることの確認を行っています。

また、これまでの焼却実証試験において、数 10ppm 程度の PCB を含む絶縁油、木くず、紙くずを試験試料として用いた、これまでの焼却実証試験において試験試料が安全かつ確実に分解されることが確認されています。

今後の予定として、協力が得られる他の施設においても焼却実証試験を実施していくとしています。

当社では、絶縁油中の PCB 分析について多くのお客様からご依頼を頂き、多検体、短納期の体制で行っておりますので是非お任せ下さい。

資料 2008 年 3 月 18 日付 環境省報道発表資料

クロマト分析箇所 山名美貴枝